

大腸切除術を受けらる方へ 患者氏名() 手術日 月 日 主治医() 担当看護師()

	準備	2日前(月 日)	1日前(月 日)	当日(月 日)	1日後(月 日)	
				術前★	術後	
達成目標	<持ち物> 別紙「持ち物について」 をご参照下さい	手術の必要性を理解し、手術準備ができる		精神的、身体的に安定した状態で手術に望むことができる	①全身状態が安定している ②出血がない ③創痛のコントロールができる	①全身状態が安定している ②創痛がコントロールできる ③歩行が出来る ④水分摂取が出来る
薬剤	<禁煙について> 肺合併症を起こす原因になるので、手術前は禁煙して頂くようお願い致します	昼に下剤を内服します。	昼に下剤を内服します。			鎮痛剤の内服が開始になります。
注射				朝6時前後から点滴(24H)開始します。		
処置	<その他> ①手術の時間は前日の夕方決まります	平日は9時～ 休日は9時半～回診がありますので検査以外は病室でお待ち下さい。	お臍の処置を行います。	当日朝までの排便が不十分のときは看護師に伝えて下さい。	酸素マスク、心電図モニター、自動血圧計をつけます。	9時から廻診があります。
検査			適宜検査をおこないます。			適宜検査をおこないます。
安静度	②入院後主治医からの説明の際、ご家族の同席をお願いします	安静度の制限はありません。			ベッド上安静となります。	手術後の第一歩行は看護師と共に歩行します。その後も状態が安定していれば歩行は可能です。
食事/水分	③手術当日のご家族の待機については別紙参照下さい		夕食後から絶食です(お茶・水に関しても同様)。夕食後から朝6時までにOS-1を飲んでください。	朝6時以降は絶飲食です。		水分(水・お茶)500ml/日まで可能です。
留置物			※OS-1は塩分糖分の組成で吸収がよいとされているため他のものは飲まないように。		尿管・お腹に管が入っています。背中から痛み止めの管が入っています。	尿道カテーテルは歩行可能であれば抜去されます。
看護			シャワー浴をしましょう。			体を蒸しタオルで拭きます。
観察			手術に備え、血圧など全身の状態を観察します。	血圧など全身状態の観察をします。	麻酔の覚醒状態を観察します。血圧など全身状態や、創の状態を観察します。	血圧など全身状態、創の状態のチェックを続けます。ドレーン(管)の排液の性状を確認します。
教育・説明		病棟オリエンテーションを行います。手術に必要な物品の説明と確認を行います。手術承諾書を提出してください。持参薬がある場合、看護師へ提出してください。薬剤師が確認をさせていただきます。	麻酔科医師より術前の説明があります。主治医より手術について説明があります。手術室、ICUの看護師の訪問があります。	手術前に排尿を済ませて下さい。眼鏡・時計・指輪・義歯・コンタクトは外してください。手術室まではパジャマのまま歩いて出棟します。ご家族の方は出棟までに病室にお越しください。手術中ご家族は、病室またはデイルームでお待ちください。	痛みのあるときや、眠れないときはお知らせください。術後は痰を飲み込まないようにし、痰を出すようにしましょう。また深呼吸をしましょう。手術後ご家族へは主治医より手術の説明があります。	歩行は腸の動きを促進します。痛みが強くなければ積極的に歩行するように心がけましょう。

※患者様の状態によって変更する場合がありますのでご了承ください。尚、ご不明な点がございましたら看護師までお尋ねください。
※入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリ、コンタクトは手術当日、処置等で必要な際は取り外しをお願いします。また入院中のお化粧品もご遠慮下さい

2日後(月 日)	3日後(月 日)	4日～6日後(月 日～ 月 日)	7日後(月 日)	8日後～13日後(月 日～ 月 日)	14日後(月 日)
痛みが緩和し、離床が行える	食事が開始でき、症状なく摂取できる	問題なくドレーン(管)が抜去できる。	縫合不全がなく、排便のコントロールができる		退院後の注意点が理解でき、不安なく退院を迎えることができる
9時から廻診があります。	→	→	廻診時、傷を止めているホッチキスを取ります。	廻診があります。 →	
制限はありません。					
水分制限はありません。	治療食が始まります。				
		ドレーン(管)の排液が問題なければ抜去されます。			
体の管が抜けるまで体拭きや洗髪を行います。		管が抜ければシャワーができます。			
	食事開始により、腹痛や吐き気が出現しないか注意して観察します。	ドレーン(管)が抜ければ、抜去部にガーゼを当てます。排液が止まれば防水テープを貼ります。	食事開始後、排便があるかどうか観察しましょう。必要時下剤の内服をしていただきます。		
	食事開始の際は、無理せずに食べるように心がけましょう。				退院時次回の外来受診日を説明します。退院後の生活について、退院後は規則的な排便習慣を心がけましょう。腹痛・嘔吐・お腹がはる・排ガスが出ないなどの症状があればすぐに受診しましょう。

